



親切・丁寧・平等
医療法人社団 和恵会

みちくさ

年2回 春秋発行

第36号

2020年10月
発行

表紙作品紹介

・ご利用者様の塗り絵の作品です。
12色の色鉛筆から始まり、今では
24色の色を使っています。

湖東病院 通所リハビリテーション
ご利用者様作品



特集
P3

ドクター紹介

理事長あいさつ	2	白脇通所リハビリテーション	6
特集 ドクター紹介	3	各施設より	7
座談会(入野めぐみの里、入野わらの家)	4・5		

お問い合わせは
法人本部まで

TEL.053-440-5505

【メールアドレス】
honbu@kotou-wakeikai.com

<http://www.kotou-wakeikai.com/>

QRコードからもホームページをご覧ください





医療法人社団 和恵会
理事長 ひろ かず 猿原 大和

日頃より医療法人社団和恵会の各種サービスをご利用頂き、誠に感謝しています。法人職員を代表し、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年末に新型コロナウイルス（COVID-19）が中国の湖北省武漢市で初めて同定され、世界中で感染爆発を起こしています。日本でも感染者が4万人を超え、死亡者数も1千人を超えました（2020年8月）。4月7日に緊急事態宣言が発令され、新規感染者は減少しましたが、5月25日の宣言解除後、約1か月で大都市、特に東京の夜の街を中心に感染者が急増、人の移動に伴い日本全国に感染が広がっています。感染者が少なかった浜松市でも、7月22日に集団感染が発生後、あっという間に100名を超える感染者が出てしまいました。感染者の中には、経路不明の方もいるようで、市中感染も否定できない状況です。

当法人の入所施設では、緊急事態宣言解除後より段階的に面会再開をしておりましたが、7月25日以降、再び面会中止とさせて頂きました。入所者様を感染症から守るためとはいえ、皆様には大変ご心配、ご迷惑をお掛けしています。ご理解、ご協力頂き、誠に恐縮です。

当法人の感染対策についてお話します。まずは、職員の体調管理を徹底するようにしています。非業務時間もあたりまえですが、三密を避け、体調管理に十分留意するように心掛けています。また、体調不良者

は、上席に相談、休めるような体制づくりとしました。職場では、1日2回の検温、マスクの着用、必要時にはフェイスガードも使用して感染予防に努めています。また、手洗い、手指のアルコール消毒を徹底、手が触れるところ（ドアノブ、電源スイッチ、キーボードなど）もアルコール清拭を行い、環境消毒を行っています。食堂などの狭い空間では密にならない、真向いにならないように席を間引き、密閉空間にならないように定期的に換気に努めています。新規に入所する利用者様は、胸部レントゲン検査または、CT検査を行い、肺炎の有無も確認するようにしました。しかし、それでもリスクをゼロにすることはできません。この感染症は、無症候者が多いことが特徴です。このため、少しでも疑わしい利用者様が出た場合は、速やかに保健所へ連絡することはもちろんですが、少しでも感染を広げないよう、ドレープを用いて隔離できる部屋をそれぞれの施設に作りました。また、陰圧装置も設置、部屋からウイルスが出て拡散しないような仕組みを導入しています。湖東病院169床と和恵会ケアセンター100床は、2020年4月に介護医療院へ移行しました。これで、和恵会には全部で409床の介護医療院が設置されたこととなります。介護医療院では、プライバシーの確保が義務付けられており、ベッドとベッドの間に間仕切り家具が設置されています。このような仕切りも、感染拡大予防に有効と考えています。

COVID-19により、会いたい人に自由に会えなくなりました。当法人では、以前よりLINE面会を進めてきましたが、今後はより拡充して参りますので、ぜひ利用して頂きたいです。また、面会再開や中止、施設情報などを速やかに伝えられるようにメーリングシステムも作りましたので、揃って利用して頂けると幸いです。

第一波感染流行期の際は、利用者様のご家族からマスクのご寄付を頂きました。大変感謝しています。このことを教訓に衛生用品を十分に備え、今後の感染拡大に対応できるよう努力して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



みずほケアセンター
施設長
木下 吉史

皆様、はじめまして。7月1日より和恵会に入職し、みずほケアセンターで勤務することになりました。昭和63年に浜松医大を卒業後は医療の世界にいましたが、6年前から老健という介護の世界で働いています。初めて勤務した老健は遠くて単身赴任をしていましたが、2年前に両親の介護のため浜松の自宅から通勤できる老健に職場を変え、結局、両親とも自分自身で看取ることができました。そして今回、縁あってこの施設に勤務することになった訳です。

さて今後は、入所された方が満足できるように、そのご家族と施設の橋渡しができれば幸いですし、その様に尽力したいと存じます。



和恵会ケアセンター
医師
矢部 誠太郎

浜松で中高生時代を送り、その頃はよく蜷塚の高台から入野方面の平野を眺めていて、当時できて間もない新幹線が入野平野の中を突っ走って行くのを見ていました。そして今、私は古希を迎えて入野に居ます。

大学病院（名大）の医局時代、研究所時代、米国の大学研究所、そして浜松の医療センターを含め病院等、次々と現れる眼前のやるべきことに夢中で取り組み、気が付けばいつの間にか通り過ぎていました。本当にあつという間で、あの視界に現れ走り去って行った新幹線の様です。

これからはもう少し人生をじっくり味わいながら進みたいと思っています。ケアセンターの入所者様方、利用者様方は人生の先輩方であり、私の少し先を歩んでいる方々です。私にとってもこれから行く路、通る路です。入所者様方、利用者様方が有益に、そしてそのご卒業までできるだけ快適に自然に過ごしていただけるようお手伝いをしたいと思っています。どうぞよろしく申し上げます。



介護医療院 湖東病院
医師
阿部 圭

このたび湖東病院に勤務することとなりました。

慢性期医療・高齢者医療を必要とする患者さまに対し、専門性にとらわれず、広く、適切に対応するよう心がけます。地域の患者さまやご家族さまと良い関係を作り、頼られる存在でありたいと思っています。皆様の穏やかな生活の手助けになれる様努力していきます。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。



湖東ケアセンター
医師
阿部 純代

はじめまして。阿部純代と申します。

今年の4月から湖東ケアセンターで勤務をしております。

まだ浜松の土地には不慣れで、ナビを使わないと浜松市内を運転できない状態です。。。道を早く覚えて、行動範囲を拡大したいところですが、新型コロナウイルスの懸念もあり今は、グーグルマップで浜松市内を探索し、魅力を日々実感しています。

入所者様そして、その御家族様の心に寄り添う医療を丁寧に行っていきたいと存じます。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。

|座|談|会|

入野めぐみの里、入野やわらの家

はじめに

高齢者が増え、認知症の人も増えています。厚生労働省の調査では、2025年には約700万人が認知症になると予測されています。これは、高齢者の5人に1人が当てはまる数字で、2019年の小学生人口が637万人ですから、いかに多いかが分るでしょう。認知症の原因の約半数はアルツハイマー病ですが、その治療法はまだありません。これからは、認知症の人と共生する社会の確立が急務です。

和恵会では、40年前から認知症の人と、どう向き合うか、どう生活するか、を考え続けてきました。そして、平成16年12月に入野めぐみの里、入野やわらの家を開設しました（浜松市西区入野町）。両施設とも、認知症の方に対して専門的なケアを提供しています。今回は、座談会を通して、めぐみの里、やわらの家を詳しく紹介したいと思います。

めぐみの里について 紹介してください。

めぐみの里 小林:めぐみの里は、地域密着型通所介護です。ここには、要介護状態になった方々が通われており、原則として自分が居住している市町村の住民でないと通うことができません。つまり、地元の方々が対象となります。それまでの通所介護は19人以上が利用定員となっていました。めぐみの里では定員を15人の少人数制とし、より個別に手厚い介護ができるようにしました。また、利用者様が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるように訓練・支援をしています。具体的には、食事や入浴などの日常生活上のお手伝いや、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰りで提供しています。

自宅に閉じこもりがちになると、認知機能が低下、認知症症状が増悪します。地元で生活する高齢者の社会的孤立の解消や心身機能の維持回復に努め、ご家族の介護の負担軽減になるように、頑張っています。少人数制ですので、すぐに職員と顔なじみになり、アットホームな雰囲気の中で過ごすことができます。個々の状況に合わせた対応も可能です。もちろん、自宅から施設までの送迎も行っています。

やわらの家について 紹介してください。

やわらの家 倉橋:やわらの家は、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）です。ここでは、認知症の方を対象に共同生活の中で専門的なケアを提供しています。1つの共同生活住居に最大9名の入居者様が、介護職員と共に家庭的な雰囲気の中で可能な



入野めぐみの里
介護福祉士
丸井 麻登

入野めぐみの里
介護福祉士
小林 早苗

限り自立した日常生活を送ることができるよう、支援しています。お部屋は、もちろん個室で、各々好きな家具や思い出がある物を持ち込まれています。また、地域住民と交流も活発できるように努めています。皆様に地域の自治会に所属して頂き、地域のお花見会や秋祭り、運動会、老人会などにも参加（年4回程）、地域と密着した生活ができるように取り組んでいます。交流を図ることで、地域の支援を受けながら生活することを体感できます。

やわらの家は、和恵会クリニックと隣接しているため、緊急時には医師、看護師がかけつけてくれます。迅速に対応することで、入居者様、ご家族に安心・安全を提供できるよう努力しています。和恵会の理念である「親切」「丁寧」「平等」を基に、やわらの家では、独自の方針として「希望が叶い笑顔で暮らす」を掲げています。グループホームには年に1回外部評価を行う義務があります。外部評価機関が複数の項目を調査し、ご家族へのアンケート調査などを行って総合的に評価するのですが、やわらの家は継続して優良の評価を頂いています。

やわらの家での過ごし方、「生活の場」として取り組んでいること、工夫していることを教えてください。

やわらの家 渡瀬:1つの生活住居に9名という小集団の中でそれぞれが能力を活かして共同で生活しています。職員と一緒に洗濯物を干したり、畳んだり、食事の準備や調理を手伝って下さる入居者様もいます。また、気分転換や体力作りのため屋外を散歩し、健康体操・口腔体操などの機能訓練を生活の中で自然に行っています。余暇は、個々にレクリエーション活動をしています。パズルや計算問題、裁縫、壁画作り等、活動は様々です。入居者様、ひとり一人興味も違えば能力も違うため、強制することはなく、職員は個々の興味や能力に合わせて活動を提供していま



医療法人社団和恵会
理事長
猿原 大和

入野やわらの家
介護課長
倉橋 英子

入野やわらの家
介護福祉士
渡瀬 理恵

す。このように、一日の大まかなタイムスケジュールは決まっているものの、その時々で臨機応変に対応しています。できるだけ入居者様の希望やこれまでの生活スタイルに合うように日々工夫して、生活の場を提供できるようにしています（消灯時間も人それぞれです。仲



の良い入居者様同士、居室を行き来している方もいますし、主治医の許可があれば、飲酒されている方もいます）。

認知症の人をケアするにあたり、どのようなことを大切にしていますか。

めぐみの里 丸井:認知症の人には不安が強い方が多いので、常に笑顔で接する事を大切にしています。また、利用者様のペースに合わせて、ゆっくりとお話するようにしています。「ちがいますよ」など否定するような発言をしないように心掛け、利用者様の自尊心や感情を傷つけないよう努力しています。

やわらの家 渡瀬:高齢だから、認知症だからといって、できないと決めつけるのではなく、一人の人間として個々を知り対応することを大切にしています。認知症の人は、どうしても物忘れがあるのですが、決して否定することはしません。毎回、初めてのように対応して、丁寧にお話を聞くように心がけています。そして、小さな変化にも気付く事ができるように努力しています。また、一方的な押しつけ介護にならないように、入居者様のできることは自立を促すことを大切にしています。開設以来、環境改善に努め、不安を軽減させ、薬に頼らないケアを心掛けています。

認知症の人が安心して在宅で生活するには、どんな事に注意すればいいですか。

めぐみの里 丸井:「正しいことをさせる、失敗させない」よりも、「どうしたら自尊心を傷つけないようにするか、どうしたら満足感を得ることができるか」を優先的に考えてもらえればいいと思います。認知症で「忘れてしまう」のは、病気が原因です。残念ですが、治すことはできません。ご本人は、非常に不安なのです。周囲の人がご本人を理解して、対応を変えることが重要だと思います。しかし、ご家族が24時間対応することは、なかなか難しいことです。介護職でも難しいです。デイサービスなどをうまく利用して、少しでも長く自宅で過ごせるようにすることが大切だと思います。

さいごに

新型コロナウイルスの終息に見通しがたちません。介護は、どうしても密に接しなければいけない場面が多く、他県の介護施設においては、集団感染したと報道でもありました。当法人では、職員の出勤時と午後に検温を行い、職員の健康管理を徹底しています。また、マスクは常時着用し、手洗い・手指のアルコール消毒も行っています。定期的に換気を行い、密閉空間になることを避け、送迎車両もアルコールにてその都度消毒を実施するようにしました。認知症の人が閉じこもりがちになると、症状が悪化することが懸念されます。利用者様が普段通りの生活を安心・安全に送れるように、職員一同感染対策を徹底して行って参りますので、今後ともよろしくお願いたします。



白脇通所リハビリテーション

白脇通所リハビリテーションでは、季節毎のイベントを提供させていただき楽しんで過ごしていただいています。地域での暮らしが行えるように皆様の生活をお手伝いさせて頂いています。

理学療法士



運動機能の維持・向上

作業療法士



心と脳・生活のリハビリ

言語聴覚士



話す・聞く・食べるのリハビリ

富士山が見えることも!!

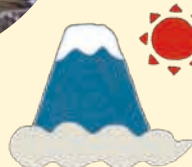


春・秋 屋上散歩

大好評!!
飲み物も選べます!!



おやつバイキング



身も心も華やかに!!



スイカ割り



フラワーアレンジメント



職員の生演奏が聞けます♪
温かい心で聞いて下さい

♪ 音楽レクリエーション ♪



習字



介護医療院 湖東病院

手芸部の皆さんの作成による向日葵畑!!
リハビリ室の壁一面に満開です!!



入野ケアセンター

通所リハビリにある、バースデーカードに使われる壁画です。毎月デザインも変わります。



和恵会ケアセンター

利用者様が集まり、みんなで懐かしい歌を歌いました♪



みずほケアセンター

通所リハビリでは、5月14日に新茶を味わう新茶会が行われました。
香りのよい新茶と季節を感じられるお菓子を楽しました。



入野めぐみの里

たなばた会で織姫と彦星と一緒に星つりゲームを楽しみました。



白協ケアセンター

ヨーヨーキルト(上)を2人で協力して作成しました。
職員に作り方を聞きながら作成していたのが印象的です。製作期間は3か月ほどかかり、一つ一つ丁寧に作り上げました。



入野やわらの家

皆さん真剣にご自分のマスクを縫いました。

〈介護医療院〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉
介護医療院 湖東病院(169床) 〒431-1111 浜松市西区伊左地町8151

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

湖東ケアセンター(60床)

湖東クリニック(内科)

TEL.053-486-2222(代表) FAX.053-486-2618

北部地域連携室 TEL.053-486-2222 FAX.053-486-2618

伊佐見訪問看護ステーション TEL.053-486-3883 FAX.053-488-5525

ケアプランセンター湖東 TEL.053-486-5566 FAX.053-488-5525



〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

白脇ケアセンター(100床) 〒430-0846 浜松市南区白羽町1424

TEL.053-444-3131(代表) FAX.053-444-3132

〒432-8053 浜松市南区法枝町248-3

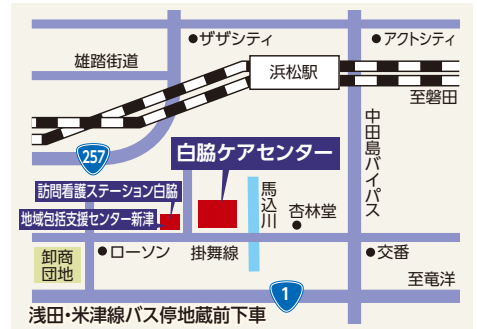
訪問看護ステーション白脇 TEL.053-444-3030 FAX.053-444-3005

ケアプランセンター白脇 TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

ヘルパーセンター浜松(白脇出張所) TEL.053-444-3000 FAX.053-444-3005

〈浜松市受託事業〉高齢者相談センター新津

地域包括支援センター新津 TEL.053-444-3333 FAX.053-444-3335



〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会ケアセンター(100床) 〒432-8061 浜松市西区入野町6413

〈介護医療院〉〈短期入所療養介護〉

和恵会医療院(80床)

和恵会クリニック(高齢者精神科・内科)

TEL.053-440-5500(代表) FAX.053-440-5501

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

入野ケアセンター(150床) 〒432-8061 浜松市西区入野町6417

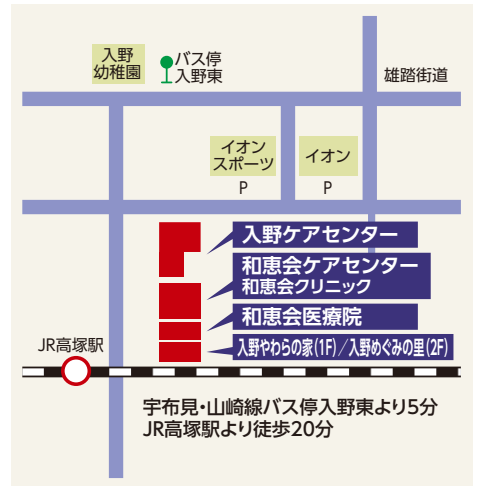
TEL.053-440-1200(代表) FAX.053-440-1201

南部地域連携室 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201

訪問看護ステーション入野 TEL.053-440-3000 FAX.053-440-1551

ケアプランセンター入野 TEL.053-440-1203 FAX.053-440-1201

ヘルパーセンター浜松 TEL.053-440-1200 FAX.053-440-1201



〈認知症対応型共同生活介護・グループホーム〉

入野やわらの家[1F](18床) 〒432-8061 浜松市西区入野町6410

TEL.053-440-3977(代表) FAX.053-440-9502

〈地域密着型通所介護〉

入野めぐみの里[2F]

TEL.053-440-9500(代表) FAX.053-440-9502

〈介護老人保健施設〉〈通所リハビリテーション〉〈短期入所療養介護〉〈訪問リハビリテーション〉

みずほケアセンター(100床) 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-36

TEL.053-414-2220(代表) FAX.053-414-2225

ケアプランセンターみずほ TEL.053-414-2222 FAX.053-414-2225

ヘルパーセンター浜松(みずほ出張所) TEL.053-414-2220 FAX.053-414-2225

やまと株式会社

〈サービス付き高齢者向け住宅〉

シャトー高丘 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-30

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557

〈福祉用具貸与・特定福祉用具販売〉

やまとメディカル 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-30(シャトー高丘内)

TEL.053-437-5551(代表) FAX.053-437-5557



社会福祉法人 行和会

〈小規模多機能型居宅介護〉

舞阪の家 〒431-0214 浜松市西区舞阪町弁天島2658-51

TEL.053-597-0170(代表) FAX.053-597-0177

伊佐見訪問看護ステーション(舞阪出張所)

〈特別養護老人ホーム〉

葵の里 〒433-8111 浜松市中区葵西6丁目10-62

TEL.053-420-2220 FAX.053-420-2255

〈地域密着型介護老人福祉施設〉

こうこうの里 〒432-8061 浜松市西区入野町10825-1 TEL.053-440-7733 FAX.053-440-7738